

ボローニャ大学への協定留学(交換留学)の月例報告書(2023年2月)

星葉奈佳

【ご挨拶】

皆さんこんにちは。3月になり、日本では一気に卒業シーズン…文芸大でも3月15日が卒業式ですね。大学を卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。ボローニャの町では季節に関係なく学生が卒業しているので、カラフルな紙吹雪がかなりの頻度で道路を彩っています。皆さんの将来が明るいものになりますように。卒業する皆さんに心の中で紙吹雪を投げておきます。

【勉強について】

2月になり、語学学校とボローニャ大学のイタリア語クラス(CLA)が始まりました。今回は語学学校の話させていただきます。

友人に勧めてもらった語学学校は町の中心部に位置しており、非常に通いやすかったです。私はCLAとの兼ね合いで1か月だけの通学となりましたが、月曜から金曜日までしっかり授業があるのでイタリア語を話す機会を十分に作る事が出来ました。

クラスは一番初心者向けのコース(以下A1クラス)で、他の国出身のクラスメイトもイタリア語が完璧ではなかったのでプレッシャーを感じませんでした。また、友人が「わからないから習いに行くんですよ」と緊張していた私の背中を押してくれたおかげで、積極的に発言や質問をすることが出来ました。A1クラスは簡単な自己紹介やイタリア語のbe動詞といった、大学の授業でも学ぶところから始まるので、自身のイタリア語の復習にもなります。もちろん授業はすべてイタリア語なのでイタリア語に慣れるにはもってこいの場所です。少人数体制でクラスメイトと仲良くなりやすいし、わからないところの質問もしやすかったです。

午前中は文法や単語などを学びます。入学して最初は、国や国籍などの自分自身を表す際に必要不可欠な名詞、日常生活に必要なお金の数え方から始まりましたが、次第に動詞の活用形、冠詞、形容詞に移り、一か月を迎えるころには過去形、命令形など少し難しいところまで勉強しました。途中、休憩を兼ねてバールに行き、午前中のクラスのことや日常生活のことを話しながら軽食を取りました。

午後は午前に習ったことを踏まえつつ、新しい文法を交えながら積極的にイタリア語を話します。私は週に20時間のコースに通っていたので朝の9時から13時30分までの授業で、個人的にはちょうど良い時間の長さでした。

時間的な余裕が出来たら通い直したいと思っています。

【外出について】

2月はフィレンツェとヴェネツィアに行きました。フィレンツェでは大学の授業で見た大聖堂を実際に見ることができて大変感動しました。また、ウフィツィ美術館にも行き、人生で一度は見たとのあるような有名な絵画をたくさん見てきました。ボッティチェッリの《La Primavera》は見た瞬間に鳥肌が立ちました。時間があまりなくフィレンツェの町並みを堪能することはできなかったのもまた行きたいと思っています。

ヴェネツィアはカーニバルの季節に合わせて行ったので、町中が華やかな雰囲気でした。仮面をつけて立派なコスチュームを身に着けている人、簡単なコスプレの人、みんながそれぞれにカーニバルを楽しんでいて、どこを見ても笑顔であふれかえっていました。また、ヴェネツィアは私の好きな漫画の舞台にもなっていたので聖地巡礼も兼ねて行きましたが、時間がなかったので、フィレンツェ同様、もう一度足を運びたいと思っています。

【これからのこと】

語学学校が終わり、本格的に大学の授業を受けることになります。
色んなことをポジティブに捉えて、イタリア生活と向き合っていきたいと思います。

左：ヴェネツィアのサン・マルコ広場で

右：語学学校のクラスメイト

